

徳島歯科学院専門学校 歯科技工士科  
令和7年度 シラバス  
2年生

講師紹介 歯科技工士科  
2年

専門分野	授業科目	単位数	時間	所属・講師名	資格	臨床経験	P	
基礎分野	科学的思考の基盤、 人間と生活 コミュニケーション学	1	16	徳島歯科学院専門学校 歯科技工士科 専任教員 堤 美由紀	歯科技工士	有	1	
専門基礎 分野	歯科技工と歯科医療 歯科技工学概論 2	1	16	徳島県歯科技工士会 秋山 佳弘 先生	歯科技工士	有	2	
	歯・口腔の構造と機能 顎口腔機能学	2	32	徳島大学大学院医歯薬学研究部 顎機能咬合再建学分野 井上 美穂 先生	歯科医師	有	3	
	歯・口腔の構造と機能 顎口腔機能学実習	1	40	徳島歯科学院専門学校 歯科技工士科 専任教員 堤 美由紀	歯科技工士	有	4	
専門分野	有床義歯技工学 金属床義歯基礎実習	2	80	株式会社シケン 橋本 直樹 先生	歯科技工士	有	6	
	有床義歯技工学 部分床義歯応用実習	1	40	徳島歯科学院専門学校 歯科技工士科 専任教員 北浦 孝浩	歯科技工士		8	
	歯冠修復技工学 ブリッジ実習	2	64	徳島歯科学院専門学校 歯科技工士科 専任教員 堤 美由紀	歯科技工士	有	10	
	歯冠修復技工学 前装冠実習	2	64	徳島歯科学院専門学校 歯科技工士科 専任教員 堤 美由紀	歯科技工士	有	12	
	歯冠修復技工学 セラミック実習	1	32	徳島歯科学院専門学校 歯科技工士科 専任教員 堤 美由紀	歯科技工士	有	14	
	歯科技工実習 ①	1	40	徳島歯科学院専門学校 歯科技工士科 専任教員 堤 美由紀	歯科技工士	有	16	
	歯科技工実習 ②	2	80	徳島歯科学院専門学校 歯科技工士科 専任教員 北浦 孝浩	歯科技工士			
	歯科技工実習 ③	2	80	株式会社シケン 篠原 宏明 先生	歯科技工士	有		
	歯科技工実習 ④	2	80	徳島歯科学院専門学校 歯科技工士科 専任教員 堤 美由紀	歯科技工士	有		
	歯科技工実習 ⑤	2	80	株式会社シケン 大栗 功司 先生	歯科技工士	有		
	歯科技工実習 先端技術実習	1	40	徳島歯科学院専門学校 歯科技工士科 専任教員 堤 美由紀	歯科技工士	有	26	
	先進歯科技工学概論 ①	1	16	2	徳島歯科学院専門学校 教務室長 伊賀 弘起 先生	歯科医師	有	28
	先進歯科技工学概論 ②			4	株式会社シケン 橋本 直樹 先生	歯科技工士	有	
	先進歯科技工学概論 ③			2	徳島大学病院 医療技術部 歯科医療技術部門 大山 正弘 先生	歯科技工士	有	
				2	徳島大学病院 医療技術部 歯科医療技術部門 西口 翔太 先生	歯科技工士	有	
	先進歯科技工学概論 ④			2	徳島大学病院 医療技術部 歯科医療技術部門 山本 諒平 先生	歯科技工士	有	
先進歯科技工学概論 ⑤	2			徳島大学病院 医療技術部 歯科医療技術部門 富永 賢 先生	歯科技工士	有		
先進歯科技工学概論 ⑥	2			ニイ歯科クリニック 院長 新居 康司 先生	歯科医師	有		

科目分野	基礎分野	科目名	コミュニケーション学		
学年	2年次	学期	前期		
時間数	16時間 (90分×8回)	単位数	1	単位	
授業形態	講義	使用場所	3階	教室2	
担当教員	堤 美由紀				
<b>授業の目的(GIO)</b>					
自分の意見を相手に伝達するための基本的知識と技能および態度を修得し、職場・ビジネスシーンで求められるコミュニケーションの基礎を身につける。					
<b>授業の概要</b>					
組織の中で業務を円滑に行うための基本的マナーや、医療従事者として適切な身だしなみについて学ぶ。					
<b>到達目標(SBOs)</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コミュニケーションの定義について説明できる。</li> <li>2. 言語、非言語コミュニケーションについて理解する。</li> <li>3. 正しい言葉づかいを理解する。</li> <li>4. 適切な身だしなみについて理解する。</li> <li>5. 訪問、名刺交換などのビジネスマナーを理解する。</li> <li>6. グループワークを実施できる。</li> <li>7. 履歴書の書き方について理解する。</li> </ol>					
<b>授業計画</b>					
回	大項目	中項目	内容	到達目標	担当教員
1	コミュニケーション	コミュニケーションの概要	コミュニケーションの種類	1	堤 美由紀
2	コミュニケーション	コミュニケーションの概要	コミュニケーションの手段	2	堤 美由紀
3	コミュニケーション	接遇とマナー	敬語の使い方	3	堤 美由紀
4	コミュニケーション	接遇とマナー	身だしなみ 名刺交換	4.5	堤 美由紀
5	コミュニケーション	コミュニケーションの成立過程	対人関係への配慮	6	堤 美由紀
6	コミュニケーション	コミュニケーションの成立過程	質問法、傾聴	6	堤 美由紀
7	コミュニケーション		履歴書記入	3.7	堤 美由紀
8	コミュニケーション		履歴書記入	3.7	堤 美由紀
<b>教科書</b>					
最新歯科技工士教本 歯科技工管理学/全国歯科技工士教育協議会					
<b>参考</b>					
<b>試験の受験資格</b>					
3分の2以上の出席					
<b>成績評価の方法</b>					
出席状況、レポート提出状況を総合的評価に加味する。					
<b>備考</b>					

<b>科目分野</b>	専門分野		<b>科目名</b>	歯科技工学概論2	
<b>学年</b>	2年次		<b>学期</b>	前期	
<b>時間数</b>	16 時間	( 90 分 × 8 回 )	<b>単位数</b>	1	単位
<b>授業形態</b>	講義		<b>使用場所</b>	3F 教室(2)	
<b>担当教員</b>	秋山 佳弘	歯科技工所で歯科技工士として臨床経験あり			
<b>授業の目的(GIO)</b>					
医療分野における歯科医療の重要性、歯科医療における歯科技工の役割を理解し、専門基礎科目と専門科目における学習を的確に行うために必要な基礎的事項を修得する。					
<b>授業の概要</b>					
教科書に加え、厚労省の衛生行政報告例及び日本歯科技工士会の調査データ等を引用したスライドを作成し、関係法規に則った歯科技工所並びに歯科技工士の正しいあり方を教科書に沿って説明する。					
<b>到達目標(SBOs)</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯科技工を行うのに適切な作業環境を説明できる。</li> <li>2. 歯科補綴装置等の品質管理と品質保証を説明できる。</li> <li>3. 歯科補綴装置等のトレーサビリティを説明できる。</li> <li>4. 労働関係法規について説明できる。</li> <li>5. 歯科技工士の健康管理について注意すべき点を挙げられる。</li> <li>6. 歯科技工作業における感染防止を説明できる。</li> </ol>					
<b>授業計画</b>					
<b>回</b>	<b>大項目</b>	<b>中項目</b>	<b>内容</b>	<b>到達目標</b>	<b>担当教員</b>
1	歯科技工の管理と運営	歯科技工の作業環境	人間工学と作業動作、歯科技工所の配置と面積、歯科技工所の採光と照明	1	秋山 佳弘
2	歯科技工の管理と運営	歯科技工の作業環境	歯科技工所の換気、騒音、環境汚染対策	1	秋山 佳弘
3	歯科技工の管理と運営	歯科技工業務の運営	歯科技工の就業形態、経営、品質管理・品質保証	2. 3	秋山 佳弘
4	歯科技工の管理と運営	歯科技工業務の運営	労働関係法規	4	秋山 佳弘
5	歯科技工の管理と運営	歯科技工における衛生管理	歯科技工士の健康管理	5	秋山 佳弘
6	歯科技工の管理と運営	歯科技工における衛生管理	歯科技工作業と感染予防	6	秋山 佳弘
7					専任教員
8					専任教員
<b>教科書</b>					
歯科技工管理学／全国歯科技工士教育協議会編集：末瀬一彦 外 著：医歯薬出版					
<b>参考</b>					
<b>試験の受験資格</b>					
3分の2以上の出席					
<b>成績評価の方法</b>					
出席状況、実習態度を総括的評価に加味する。 S（秀）：90点以上、A（優）：80点以上90点未満、B（良）：70点以上80点未満、C（可）：60点以上71点未満、X（不可）：60点未満の5段階評価とする。					
<b>備考</b>					

<b>科目分野</b>	専門基礎分野		<b>科目名</b>	顎口腔機能学	
<b>学年</b>	2年次		<b>学期</b>	前期	
<b>時間数</b>	32 時間	( 90 分 × 16 回 )	<b>単位数</b>	2	単 位
<b>授業形態</b>	講義		<b>使用場所</b>	3F 教室(2)	
<b>担当教員</b>	井上 美穂	大学病院で歯科医師として実務経験あり			
<b>授業の目的(GIO)</b>					
顎口腔系の組織を理解し、異常がある場合、その形態・機能を回復・維持するために、生体に調和した形態の補綴物を製作し、口腔内で機能させることができるような知識を習得する。					
<b>授業の概要</b>					
顎口腔機能学について一般的な知識、イメージが理解できるように、教科書、参考資料をもとに進めていく。					
<b>到達目標(SBOs)</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>顎口腔系の概念、顎口腔系の構成要素、各構成要素の形態的特徴と機能について説明できる。</li> <li>顎口腔系の機能、下顎運動の分析に関する基準点と基準面、咬合に関する平面について説明できる。</li> <li>各下顎位の定義、各下顎位の臨床的意義について説明できる。</li> <li>下顎運動の種類と特徴、頭蓋に対する下顎の運動範囲、切歯点の運動と顎頭運動の対応について説明できる。</li> <li>歯の接触様式、咬頭嵌合位と偏心位における咬合接触、咬合干渉の種類と原因について説明できる。</li> <li>咬合器の使用目的と調節方法、フェイスボウトランスファーについて説明できる。</li> <li>咬合検査と顎機能障害について説明できる。</li> </ol>					
<b>授業計画</b>					
<b>回</b>	<b>大項目</b>	<b>中項目</b>	<b>内容</b>	<b>到達目標</b>	<b>担当教員</b>
1	顎口腔系の形態	歯と歯列、顎口腔系を構成する骨	歯と歯列、骨	1	井上 美穂
2	顎口腔系の形態	顎口腔系を構成する筋	筋	1	井上 美穂
3	顎口腔系の形態	顎関節、神経	顎関節、神経支配	1	井上 美穂
4	顎口腔系の機能	顎口腔系とその機能	機能、維持、基準点・面	2	井上 美穂
5	顎口腔系の機能	基準点・面	基準点・面、咬合に関する平面	2	井上 美穂
6	下顎位	下顎位	咬頭嵌合位、中心位、下顎安静位、偏心咬合位	3	井上 美穂
7	下顎運動	種類・基本運動	下顎運動の種類、下顎の基本運動	4	井上 美穂
8	下顎運動	限界運動、機能運動	下顎の限界運動、下顎の機能運動	4	井上 美穂
9	歯の接触様式	歯の形態と機能、咬頭嵌合位における咬合接触	歯の形態と機能、咬頭嵌合位における咬合接触	5	井上 美穂
10	歯の接触様式	偏心位における咬合接触	偏心位における咬合接触(咬合様式)	5	井上 美穂
11	歯の接触様式	咬合干渉	咬合干渉	5	井上 美穂
12	咬合器	使用目的、機構と分類	咬合器の使用目的、咬合器の機構と分類	6	井上 美穂
13	咬合器	フェイスボウトランスファー、咬合採得	フェイスボウトランスファー、咬合採得	6	井上 美穂
14	咬合器	咬合器の使用手順	咬合器の使用手順	6	井上 美穂
15	咬合検査と顎機能障害	咬合検査	咬合検査	7	井上 美穂
16	咬合検査と顎機能障害	顎機能障害	顎機能障害とスプリント	7	井上 美穂
<b>教科書</b>					
顎口腔機能学／全国歯科技工士教育協議会編集：新谷明喜、志賀 博、荒川一郎、小泉順一、市川 基著：医歯薬出版2013					
<b>参考</b>					
技工士国家試験問題集					
<b>試験の受験資格</b>					
3分の2以上の出席					
<b>成績評価の方法</b>					
授業態度、出席状況を加味して、学期末試験成績を主に評価し合否を判定する。100点満点中60点以上を合格とする。					
<b>備考</b>					

科目分野	専門基礎分野		科目名	顎口腔機能学実習	
学年	2年次		学期	前期	
時間数	40 時間	( 90 分 × 20 回 )	単位数	1	単位
授業形態	実習		使用場所	3 階 技工実習室	
担当教員	堤 美由紀	歯科診療所で歯科技工士として臨床経験あり			
<b>授業の目的(GIO)</b>					
顎口腔系の組織を理解し、異常がある場合、その形態・機能を回復・維持するために、生体に調和した形態の補綴物を製作し、口腔内で機能させることができるような知識を修得する。					
<b>授業の概要</b>					
相互実習を行う。自身の上下顎作業用模型を製作し、半調節性咬合器にフェイスボウトランスファーを行う。咬合関係や咬合器の構造と操作法を理解する。					
<b>到達目標(SBOs)</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 気泡を入れないように石膏注入ができる。</li> <li>2. スプリットキャスト法を応用した作業用模型を製作できる。</li> <li>3. フェイスボウトランスファーにより半調節咬合器に模型装着ができる。</li> <li>4. チェックバイトにより、顎路角の調整ができる。</li> <li>5. マウスガード (略号：MS)の目的、種類、特徴について説明できる。</li> <li>6. マウスガードの材料について説明できる。</li> <li>7. マウスガードの構造と製作法について説明できる。</li> <li>8. スプリント療法の目的について説明できる。</li> <li>9. スプリントの目的、種類、特徴について説明できる。</li> <li>10. スプリントの材料について説明できる。</li> <li>11. スタビライゼーションスプリント (略号：SS)の構造と製作法について説明できる。</li> </ol>					
<b>授業計画</b>					
回	大項目	中項目	小項目	到達目標	担当教員
1	顎口腔機能学実習	印象採得. 石膏注入	上下顎模型製作のための印象採得、石膏注入	1	堤 美由紀
2		印象採得. 石膏注入	上下顎模型製作のための印象採得、石膏注入	1	堤 美由紀
3		作業模型製作	作業模型の製作 スプリットキャストの付与	2	堤 美由紀
4		作業模型製作	作業模型の製作 スプリットキャストの付与	2	堤 美由紀
5		フェイスボウトランスファー	フェイスボウトランスファーによる半調節性咬合器への上顎模型(MG用)装着	3	堤 美由紀
6		下顎模型装着 チェックバイト採得	咬頭嵌合位での下顎模型装着 前方チェックバイト採得	3	堤 美由紀
7		顎路角調整 上顎模型 (SS用) 装着	半調節性咬合器の顎路角調整 スプリント用上顎模型 (SS用) 装着	4	堤 美由紀
8		マウスガード製作①	マウスガードの目的・種類・材料 模型調整	5-7	堤 美由紀
9		マウスガード製作②	シート材圧接・吸引	7	堤 美由紀
10		マウスガード製作③	マウスガード調整	7	堤 美由紀
11		マウスガード製作④	マウスガード完成	7	堤 美由紀
12		スプリント製作①	サベイング、ブロックアウト、 リリース	8-10	堤 美由紀
13		スプリント製作②	設計、ボールクラスプ屈曲、 パラフィンワックス圧接	11	堤 美由紀
14		スプリント製作③	スプリント蠟型完成	11	堤 美由紀
15		スプリント製作⑤	フラスク埋没 (※レジン溢出路付与)	11	堤 美由紀
16		スプリント製作⑥	レジン填入・湿熱式重合	11	堤 美由紀
17		スプリント製作⑦	フラスク開輪、咬合器再装着、 削合	11	堤 美由紀
18		スプリント製作⑧	削合	11	堤 美由紀
19		試 適	研磨、完成	11	堤 美由紀
20		試 適	試適・感想	5.8	堤 美由紀
<b>教科書</b>					

**参考**

**試験の受験資格**

3分の2以上の出席

**成績評価の方法**

ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。出席状況、実習態度を総括的評価に加味する。

**備考**

科目分野	専門分野	科目名	金属床義歯実習		
学年	2年次	学期	前期		
時間数	80 時間 ( 90 分 × 40 回 )	単位数	2	単位	
授業形態	実習	使用場所	3 階 技工実習室		
担当教員	橋本 直樹	歯科技工所で歯科技工士として臨床経験あり			
<b>授業の目的 (GIO)</b>					
多数歯歯牙欠損患者の口腔内で部分金属床義歯がその機能・審美性を回復してその状態を長く維持する補綴装置であることを認識するために、部分金属床義歯の製作過程を実習しながら、維持装置、連結子や人工歯排列等の技術と理論を習得する。					
<b>授業の概要</b>					
歯冠補綴とはまた違った部分的な歯牙欠損補綴装置であることを認識するために、部分金属床義歯の製作過程を実習しながら、維持装置、連結子や人工歯排列等の技術と理論を習得する。					
<b>到達目標 (SB0 s)</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 口腔内の解剖学的ランドマークを列挙し、その意義を説明できる。</li> <li>2. 作業用模型の目的と製作法について説明できる。</li> <li>3. 部分金属床義歯基礎床の説明と製作法が説明できる。</li> <li>4. 平均値咬合器への装着法について説明できる。</li> <li>5. サベイヤーの使用目的、構造及び使用法について説明できる。</li> <li>6. リリーフ、ブロックアウトの説明と製作法が説明できる。</li> <li>7. 部分金属床義歯の構成要素を列挙し、その役割を説明できる。</li> <li>8. 部分金属床義歯の製作手順を説明できる。</li> <li>9. 部分金属床義歯の寒天精密印象を説明できる。</li> <li>10. 支台装置、連結子の種類や機能について説明できる。</li> <li>11. 金属床義歯製作の副印象、耐火模型の製作方について説明できる。</li> <li>12. 鋳造鉤の製作法について説明できる。</li> <li>13. 鋳造バー、鋳造クラスプの製作法について説明できる。</li> <li>14. 鋳造バー、鋳造クラスプの埋没、試適、研磨について説明できる。</li> <li>15. 部分金属床義歯の排列、削合について説明できる。</li> <li>16. 部分金属床義歯の歯肉形成について説明できる。</li> <li>17. 各種フラスク埋没法について説明できる。</li> <li>18. 床用レジンの填入法ならびに重合法について説明できる。</li> <li>19. レジン重合後の義歯床の取り出しについて説明できる。</li> <li>20. 義歯床研磨の目的を理解し、その手順を説明できる。</li> </ol>					
<b>授業計画</b>					
回	大項目	中項目	内容	到達目標	担当教員
1	金属床義歯実習	部分金属床義歯の概説、	部分金属床義歯実習の概要	1	橋本 直樹
2	金属床義歯実習	咬合床製作①	模型製作、床外形線記入	2	橋本 直樹
4	金属床義歯実習	咬合床製作③	咬合堤（蟻堤）形成、咬合床完成	3	橋本 直樹
5	金属床義歯実習	咬合器装着	平均値咬合器装着	4	橋本 直樹
6	金属床義歯実習	サベイング、設計	サベイング、義歯の着脱方向の決定、 義歯の本設計	5	橋本 直樹
7	金属床義歯実習	サベイング、設計	サベイング、義歯の着脱方向の決定、 義歯の本設計	5	橋本 直樹
8	金属床義歯実習	リリーフ、ブロックアウト	リリーフ、ブロックアウト	6	橋本 直樹
9	金属床義歯実習	リリーフ、ブロックアウト	リリーフ、ブロックアウト	6	橋本 直樹
10	金属床義歯実習	設計	鋳造、連結子設計	7. 8. 9. 10	橋本 直樹
11	金属床義歯実習	副模型製作	精密印象、耐火模型製作	11	橋本 直樹
12	金属床義歯実習	副模型製作	精密印象、耐火模型製作	11	橋本 直樹
13	金属床義歯実習	ワックスアップ	ワックスアップ	12. 13	橋本 直樹
14	金属床義歯実習	ワックスアップ	ワックスアップ	12. 13	橋本 直樹
15	金属床義歯実習	ワックスアップ	ワックスアップ	12. 13	橋本 直樹
16	金属床義歯実習	ワックスアップ	ワックスアップ	12. 13	橋本 直樹

17	金属床義歯実習	埋没、鋳造	埋没、鋳造	14	橋本 直樹
18	金属床義歯実習	試適、研磨	試適、研磨	14	橋本 直樹
19	金属床義歯実習	試適、研磨	試適、研磨	14	橋本 直樹
20	金属床義歯実習	試適、研磨	試適、研磨	14	橋本 直樹
21	金属床義歯実習	人工歯排列	人工歯排列	15	橋本 直樹
22	金属床義歯実習	人工歯排列	人工歯排列	15	橋本 直樹
23	金属床義歯実習	人工歯排列	人工歯排列	15	橋本 直樹
24	金属床義歯実習	人工歯排列	人工歯排列	15	橋本 直樹
25	金属床義歯実習	歯肉形成	歯肉形成	16	橋本 直樹
26	金属床義歯実習	歯肉形成	歯肉形成	16	橋本 直樹
27	金属床義歯実習	歯肉形成	歯肉形成	16	橋本 直樹
28	金属床義歯実習	歯肉形成	歯肉形成	16	橋本 直樹
29	金属床義歯実習	蠟義歯埋没	一次埋没、二次埋没、三次埋没	17	橋本 直樹
30	金属床義歯実習	蠟義歯埋没	一次埋没、二次埋没、三次埋没	17	橋本 直樹
31	金属床義歯実習	流蠟、分離材塗布	流蠟（蠟抜き、脱蠟）、分離剤塗布	17	橋本 直樹
32	金属床義歯実習	レジン填入・重合	床用加熱重合レジン混和填入	18	橋本 直樹
33	金属床義歯実習	レジン填入・重合	床用加熱重合レジン混和填入	18	橋本 直樹
34	金属床義歯実習	レジン填入・重合	乾熱式重合	18	橋本 直樹
35	金属床義歯実習	レジン填入・重合	乾熱式重合	18	橋本 直樹
36	金属床義歯実習	模型割り出し	模型割り出し	19	橋本 直樹
37	金属床義歯実習	研磨	形態修正、研磨削合、	19	橋本 直樹
38	金属床義歯実習	研磨	形態修正、研磨削合、	20	橋本 直樹
39	金属床義歯実習	研磨	形態修正、研磨削合、完成	20	橋本 直樹
40	金属床義歯実習	総括	部分床義歯製作過程を総括	20	橋本 直樹

#### 教科書

有床歯科技工学（医歯薬出版株式会社、2020年）

#### 参考

有床義歯技工：歯科技工学実習トレーニング関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会（編）  
医歯薬出版株式会社

#### 試験の受験資格

3分の2以上の出席

#### 成績評価の方法

出席状況、実習態度を加味し、ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

#### 備考

科目分野	専門分野	科目名	部分床義歯応用実習
学年	2年次	学期	後期
時間数	40 時間 (90分 × 20回)	単位数	1 単位
授業形態	実習	使用場所	3階 技工実習室
担当教員	北浦 孝浩		

### 授業の目的(GIO)

矯正線を使って矯正装置、矯正、保定力をコントロールし各種矯正装置と保定装置が歯牙の移動をスムーズに任意の場所に移動、保定する技術と理論および制作法を習得する。

### 授業の概要

矯正線の特徴、性質について学び、加工の仕方また、色々な矯正装置の製作法、臨床に必要な技工操作を行えるようにさまざまな知識、技術を習得するための実習を行う。

### 到達目標(SBOs)

1. 口腔内の解剖学的ランドマークを列挙し、その意義を説明できる。
2. 個人トレーの説明と製作法が説明できる。
3. 作業用模型の目的と製作法について説明できる。
4. 部分床義歯基礎床の説明と製作法が説明できる。
5. 平均値咬合器への装着法について説明できる。
6. 平均値咬合器の構成要素を列挙し、その役割を説明できる。
7. サベイヤーの使用目的、構造及び使用法について説明できる。
8. 部分床義歯の構成要素を列挙し、その役割を説明できる。
9. 部分床義歯の製作手順を説明できる。
10. 部分床義歯の概形印象と精密印象を説明できる。
11. 支台装置、連結子の種類や機能について説明できる。
12. 鋳造鉤、線鉤の製作法について説明できる。
13. リリーフ、ブロックアウトの説明と製作法が説明できる。
14. 鋳造バー、屈曲バー、双子鉤、補強線の製作法について説明できる。
15. 鋳造バー、鋳造クラスプの製作法について説明できる。
16. 鋳造バー、鋳造クラスプ、双子鉤、補強線の埋没、試適、研磨について説明できる。
17. 屈曲バー、屈曲クラスプの製作法について説明できる。
18. 屈曲バー、屈曲クラスプの試適、研磨について説明できる。
19. 部分床義歯の排列、削合について説明できる。
20. 部分床義歯の歯肉形成について説明できる。
21. 各種フラスク埋没法について説明できる。
22. 床用レジンの填入法ならびに重合法について説明できる。
23. レジン重合後の義歯床の取り出しについて説明できる。
24. 義歯床研磨の目的を理解し、その手順を説明できる。

### 授業計画

回	大項目	中項目	内容	到達目標	担当教員
1	有床義歯技工学	部分床義歯の概説、	部分床義歯実習の概要	1. 2	北浦 孝浩
2	有床義歯技工学	咬合床製作①	模型製作、床外形線記入	2	北浦 孝浩
3	有床義歯技工学	咬合床製作②	基礎床製作 (トレーレジソ圧接・トリミング)	2	北浦 孝浩
4	有床義歯技工学	咬合床製作③	咬合堤 (蟬堤) 形成、咬合床完成	2	北浦 孝浩
5	有床義歯技工学	咬合器装着	平均値咬合器装着	2	北浦 孝浩
6	有床義歯技工学	サベイング、設計	サベイング、義歯の着脱方向の決定、義歯の本設計	3	北浦 孝浩
7	有床義歯技工学	設計	鋳造、線鉤、連結子設計	4. 5. 6	北浦 孝浩
8	有床義歯技工学	リリーフ、ブロックアウト ワックスアップ	リリーフ、ブロックアウト ワックスアップ	8-10. 13	北浦 孝浩
9	有床義歯技工学	埋没、鋳造	埋没、鋳造	15	北浦 孝浩

10	有床義歯技工学	試適、研磨	試適、研磨	15	北浦 孝浩
11	有床義歯技工学	屈曲	線鉤、連結子屈曲	15	北浦 孝浩
12	有床義歯技工学	試適、研磨	試適、研磨	17	北浦 孝浩
13	有床義歯技工学	人工歯排列	人工歯排列	17	北浦 孝浩
14	有床義歯技工学	歯肉形成	歯肉形成	19	北浦 孝浩
15	有床義歯技工学	蠟義歯埋没	一次埋没、二次埋没、三次埋没	20	北浦 孝浩
16	有床義歯技工学	流蠟、分離材塗布	流蠟（蠟抜き、脱蠟）、分離剤塗布	20	北浦 孝浩
17	有床義歯技工学	レジン填入・重合	床用加熱重合レジン混和填入・重合	20-23	北浦 孝浩
18	有床義歯技工学	模型割り出し	模型割り出し	22. 23	北浦 孝浩
19	有床義歯技工学	研磨	形態修正、研磨削合、完成	22-24	北浦 孝浩
20	有床義歯技工学	総括	部分床義歯製作過程を総括	24	北浦 孝浩
<b>教科書</b>					
最新歯科技工士教本 有床義歯技工学 医歯薬出版2019					
<b>参考</b>					
有床義歯技工：歯科技工学実習トレーニング 関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会（編） 医歯薬出版株式会社					
<b>試験の受験資格</b>					
3分の2以上の出席					
<b>成績評価の方法</b>					
出席状況、実習態度を加味し、ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。					
<b>備考</b>					

科目分野	専門分野	科目名	ブリッジ実習		
学 年	2年次	学 期	前 期		
時 間 数	64 時間 ( 90 分 × 32 回 )	単 位 数	2	単 位	
授 業 形 態	実 習	使 用 場 所	3 階 技工実習室		
担 当 教 員	堤 美由紀	歯科診療所で歯科技工士として臨床経験あり			
<b>授業の目的(GIO)</b>					
歯の部分的な欠損に対し補綴物での歯の色を改善して審美的な色調を取り戻す方法を学び、歯冠修復物を製作するために必要な知識と技術を学ぶ。					
<b>授業の概要</b>					
歯冠修復学の基本的知識、技工操作を習得するとともに、歯冠修復の基礎となるブリッジを製作するために必要な知識と技術を学ぶ。					
<b>到達目標(SBOs)</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯冠修復技工学の意義と目的を説明できる。</li> <li>2. ブリッジの利点、欠点を説明できる。</li> <li>3. ブリッジの構成要素、種類を説明できる。</li> <li>4. ブリッジの作業用模型について説明できる。</li> <li>5. ブリッジの作業用模型製作工程を説明できる。</li> <li>6. ブリッジの作業用模型の分割、トリミングについて説明できる。</li> <li>7. 作業用模型の咬合器装着を説明できる。</li> <li>8. ブリッジのワックスアップの方法を説明できる。</li> <li>9. ポンティックのワックスアップを説明できる。</li> <li>10. ポンティック基底面の形態を説明できる。</li> <li>11. ブリッジワックスアップ時の咬合面、頬舌面、隣接面形態の説明ができる。</li> <li>12. ワックスアップパターンのスプルー線の植立方法を説明できる。</li> <li>13. ワックスアップパターンの埋没、鋳造が説明できる。</li> <li>14. ブリッジ連結部の鑢付け方を説明できる。</li> <li>15. 歯冠修復物の歯型への適合について説明できる。</li> <li>16. 歯冠修復物の外面、内面、辺縁部、隣接面、咬合面の調整が説明できる。</li> <li>17. 歯冠修復物の研磨方法を説明できる。</li> <li>18. 歯科用硬質レジンの操作ができる。</li> <li>19. 歯冠修復物の研磨後の歯型への試適、再点検を説明できる。</li> </ol>					
<b>授業計画</b>					
回	大項目	中項目	内容	到達目標	担当教員
1	歯冠修復技工学	歯冠修復技工学の概要	歯冠修復技工学の意義と目的	1.2.3	堤 美由紀
2	歯冠修復技工学	ブリッジ製作 模型製作	作業用模型の製作	3.4.5	堤 美由紀
3	歯冠修復技工学	ブリッジ製作 模型製作	一次石膏注入	3.4.5	堤 美由紀
4	歯冠修復技工学	ブリッジ製作 模型製作	作業用模型の製作	3.4.5	堤 美由紀
5	歯冠修復技工学	ブリッジ製作 模型製作	ダウエルピンの植立	3.4.5	堤 美由紀
6	歯冠修復技工学	ブリッジ製作 模型製作	作業用模型の製作	3.4.5	堤 美由紀
7	歯冠修復技工学	ブリッジ製作 模型製作	二次石膏の注入	3.4.5	堤 美由紀
8	歯冠修復技工学	ブリッジ製作 模型製作	歯型の分割	4.5.6	堤 美由紀
9	歯冠修復技工学	ブリッジ製作 模型製作	歯型のトリミング	4.5.6	堤 美由紀
10	歯冠修復技工学	ブリッジ製作 模型製作	咬合器装着	7	堤 美由紀
11	歯冠修復技工学	ブリッジ製作 (下顎)	ワックスアップ	8	堤 美由紀
12	歯冠修復技工学	ブリッジ製作 (下顎)	ワックスアップ	8	堤 美由紀
13	歯冠修復技工学	ブリッジ製作 (下顎)	ワックスアップ	8	堤 美由紀
14	歯冠修復技工学	ブリッジ製作 (下顎)	ワックスアップ	8	堤 美由紀
15	歯冠修復技工学	ブリッジ製作 (下顎)	基底面形態(離底型)連結	9.10	堤 美由紀

16	歯冠修復技工学	ブリッジ製作（下顎）	埋没・鋳造	10.11	堤 美由紀
17	歯冠修復技工学	ブリッジ製作（下顎）	歯型への試適	12	堤 美由紀
18	歯冠修復技工学	ブリッジ製作（上顎）	ワックスアップ	8	堤 美由紀
19	歯冠修復技工学	ブリッジ製作（上顎）	ワックスアップ	8	堤 美由紀
20	歯冠修復技工学	ブリッジ製作（上顎）	ワックスアップ	8	堤 美由紀
21	歯冠修復技工学	ブリッジ製作（上顎）	ワックスアップ	8	堤 美由紀
22	歯冠修復技工学	ブリッジ製作（上顎）	基底面形態(リッジアップ) 連結・窓開け・連結	9.10	堤 美由紀
23	歯冠修復技工学	ブリッジ製作（上顎）	基底面形態(リッジアップ) 連結・窓開け・連結	9.10	堤 美由紀
24	歯冠修復技工学	ブリッジ製作（上顎）	埋没・鋳造	11	堤 美由紀
25	歯冠修復技工学	ブリッジ製作（上顎）	歯型への試適	12	堤 美由紀
26	歯冠修復技工学	ブリッジ製作（上顎）	咬合調整・上下顎ブリッジ中研磨	13	堤 美由紀
27	歯冠修復技工学	ブリッジ製作（上顎）	鋳造体(上顎けブリッジ)を 鑲付け用埋没材にて埋没	14	堤 美由紀
28	歯冠修復技工学	ブリッジ製作（上顎）	固定鑲付け	15	堤 美由紀
29	歯冠修復技工学	ブリッジ製作（上顎）	咬合調整・研磨	16.17	堤 美由紀
30	歯冠修復技工学	ブリッジ製作（上顎）	窓開け部にレジン築盛	18	堤 美由紀
31	歯冠修復技工学	ブリッジ製作（上顎）	形態修正	17	堤 美由紀
32	歯冠修復技工学	ブリッジ製作	最終研磨	19	堤 美由紀
<b>教科書</b> 歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会編集：末瀬一彦 外 著：医歯薬出版					
<b>参考</b> 歯冠修復技工 歯科技工実習トレーニング/関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会					
<b>試験の受験資格</b> 3分の2以上の出席					
<b>成績評価の方法</b> 出席状況、実習態度を加味し、ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。					
<b>備考</b>					

科目分野	専門基礎分野		科目名	前装冠実習	
学年	2年次		学期	前期	
時間数	64時間 (90分×32回)		単位数	2 単位	
授業形態	実習		使用場所	3階 技工実習室	
担当教員	堤 美由紀	歯科診療所で歯科技工士として臨床経験あり			
<b>授業の目的(GIO)</b>					
硬質レジン前装冠の製作に必要な技工操作を理解するために、材料、機器、知識を修得する。					
<b>授業の概要</b>					
唇側部分を硬質レジンを用い回復する。 前歯部一歯欠損の固定性ブリッジを製作。ポンティック基底面形態を理解し、反対側同名歯の形態を考慮して製作する。					
<b>到達目標(SBOs)</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 技工器具、器材を正しく使用できる。</li> <li>2. 正確な作業用模型を製作できる。</li> <li>3. 解剖学的形態を理解し、対合歯との咬合関係をワクシングすることができる。</li> <li>4. 前装するための窓開けができる。</li> <li>5. 適合精度の高いワックスパターンを製作することができる。</li> <li>6. クリストバライト埋没材を用い、気泡を混入しないように埋没できる。</li> <li>7. 鋳造操作ができる。</li> <li>8. 辺縁形態、隣接面接触、咬合接触について正確な処理ができる。</li> <li>9. ポンティックの基底面形態、窓開けの理由について説明ができる。</li> <li>10. 歯科用硬質レジンと金属との接着の原理・方法を説明できる。</li> <li>11. 歯科用硬質レジンの操作ができる。</li> <li>12. 歯冠形態、色調表現が再現できる。</li> <li>13. 前装用レジンの研磨ができる。</li> <li>14. 製作物を期限内に完成提出できる。</li> </ol>					
<b>授業計画</b>					
回	大項目	中項目	内容	到達目標	担当教員
1	歯科修復技工実習	レジン前装 前歯部・小白歯部単冠	作業用模型製作・咬合器装着	1.2	堤 美由紀
2	歯科修復技工実習	レジン前装 前歯部・小白歯部単冠	ワックスアップ・歯冠形態回復	3.5	堤 美由紀
3	歯科修復技工実習	レジン前装 前歯部・小白歯部単冠	コア採得	3-5	堤 美由紀
4	歯科修復技工実習	レジン前装 前歯部・小白歯部単冠	窓開け	3-6	堤 美由紀
5	歯科修復技工実習	レジン前装 前歯部・小白歯部単冠	リテンションピース付与	9	堤 美由紀
6	歯科修復技工実習	レジン前装 前歯部・小白歯部単冠	スプルーイング・埋没・鋳造 鋳造リング割り出し	5-7	堤 美由紀
7	歯科修復技工実習	レジン前装 前歯部・小白歯部単冠	適合確認 隣接面舌側面咬合面調整	5.8	堤 美由紀
8	歯科修復技工実習	レジン前装 前歯部・小白歯部単冠	マージン調整・サンドブラスト処理	5.8.10	堤 美由紀
9	歯科修復技工実習	レジン前装 前歯部・小白歯部単冠	プライマー処理・オペーク築盛	10-12	堤 美由紀
10	歯科修復技工実習	レジン前装 前歯部・小白歯部単冠	デンティン築盛	11.12	堤 美由紀
11	歯科修復技工実習	レジン前装 前歯部・小白歯部単冠	エナメル築盛	11.12	堤 美由紀
12	歯科修復技工実習	レジン前装 前歯部・小白歯部単冠	プライマー処理・オペーク築盛	10-12	堤 美由紀
13	歯科修復技工実習	レジン前装 前歯部・小白歯部単冠	デンティン築盛	11.12	堤 美由紀
14	歯科修復技工実習	レジン前装 前歯部・小白歯部単冠	エナメル築盛	11.12	堤 美由紀

15	歯科修復技工学実習	レジン前装 前歯部・小臼歯部単冠	形態修正	12	堤 美由紀
16	歯科修復技工学実習	レジン前装 前歯部・小臼歯部単冠	研磨・完成・提出	12-14	堤 美由紀
17	歯科修復技工学実習	レジン前装 前歯部ブリッジ	作業用模型製作・咬合器装着	1.2	堤 美由紀
18	歯科修復技工学実習	レジン前装 前歯部ブリッジ	ワックスアップ・歯冠形態回復	3.5	堤 美由紀
19	歯科修復技工学実習	レジン前装 前歯部ブリッジ	ボンティックワックスアップ	3.5.9	堤 美由紀
20	歯科修復技工学実習	レジン前装 前歯部ブリッジ	ボンティック粘膜面形態付与	3.5.9	堤 美由紀
21	歯科修復技工学実習	レジン前装 前歯部ブリッジ	コア採得・窓開け	4	堤 美由紀
22	歯科修復技工学実習	レジン前装 前歯部ブリッジ	窓開け	4	堤 美由紀
23	歯科修復技工学実習	レジン前装 前歯部ブリッジ	ワックスパターン連結	5	堤 美由紀
24	歯科修復技工学実習	レジン前装 前歯部ブリッジ	リテンションビーズ付与	10	堤 美由紀
25	歯科修復技工学実習	レジン前装 前歯部ブリッジ	スプルーイング・埋没・鋳造 鋳造リング割り出し	6.7	堤 美由紀
26	歯科修復技工学実習	レジン前装 前歯部ブリッジ	適合確認 隣接・舌側・咬合面部調整	5.8	堤 美由紀
27	歯科修復技工学実習	レジン前装 前歯部ブリッジ	マージン調整・サンドブラスト処理	8.10	堤 美由紀
28	歯科修復技工学実習	レジン前装 前歯部ブリッジ	プライマー処理・オペーク築盛	10.11	堤 美由紀
29	歯科修復技工学実習	レジン前装 前歯部ブリッジ	デンティン築盛	11.12	堤 美由紀
30	歯科修復技工学実習	レジン前装 前歯部ブリッジ	エナメル築盛	11.12	堤 美由紀
31	歯科修復技工学実習	レジン前装 前歯部ブリッジ	形態修正	11.12	堤 美由紀
32	歯科修復技工学実習	レジン前装 前歯部ブリッジ	研磨・完成	12-14	堤 美由紀

### 教科書

歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会編集：末瀬一彦 外 著：医歯薬出版

### 参考

歯冠修復技工 歯科技工実習トレーニング/関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会

### 試験の受験資格

3分の2以上の出席

### 成績評価の方法

出席状況、実習態度を加味し、ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

### 備考

科目分野	専門基礎分野		科目名	セラミック実習	
学 年	2年次		学 期	後 期	
時 間 数	32 時間 ( 90 分 × 16 回 )		単 位 数	1 単 位	
授 業 形 態	実 習		使 用 場 所	3 階 技工実習室	
担 当 教 員	堤 美由紀	歯科診療所で歯科技工士として臨床経験あり			
<b>授業の目的(GIO)</b>					
陶材焼付鑄造冠の製作に必要な技工操作を理解するために、審美歯科技工に関わる材料、機器、知識を修得する。					
<b>授業の概要</b>					
陶材の種類、コンデンスの意義、ディギャッシングの必要性について理解し、陶材の築盛、焼成を行う。					
<b>到達目標(SBOs)</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 技工器具、器材を正しく使用できる。</li> <li>2. 正確な作業用模型を製作できる。</li> <li>3. 解剖学的形態を理解し、対合歯との咬合関係をワクシングすることができる。</li> <li>4. 前装するための窓開けができる。</li> <li>5. 適合精度の高いワックスパターンを製作することができる。</li> <li>6. リン酸塩系埋没材を用い、気泡を混入しないよう埋没できる。</li> <li>7. 鑄造操作ができる。</li> <li>8. 辺縁形態、隣接面接触、咬合接触について正確な処理ができる。</li> <li>9. 歯科用陶材の性質を説明できる。</li> <li>10. 金属焼付陶材における金属との結合を説明できる。</li> <li>11. 歯科用陶材を成形できる。</li> <li>12. コンデンスについて説明できる。</li> <li>13. シェードテイキングについて説明できる。</li> <li>14. 歯冠形態、色調表現が再現できる。</li> <li>15. 製作物を期限内に完成提出できる。</li> </ol>					
<b>授業計画</b>					
回	大項目	中項目	内容	到達目標	担当教員
1	歯冠修復技工実習	陶材焼付鑄造冠製作	印象への石膏注入・模型トリミング	1.2	堤 美由紀
2	歯冠修復技工実習	陶材焼付鑄造冠製作	ダウエルピン植立・二次石膏	1.2	堤 美由紀
3	歯冠修復技工実習	陶材焼付鑄造冠製作	模型分割・歯型トリミング 咬合器装着	1.2	堤 美由紀
4	歯冠修復技工実習	陶材焼付鑄造冠製作	ワックスアップ・歯冠形態回復	3.5	堤 美由紀
5	歯冠修復技工実習	陶材焼付鑄造冠製作	コア採得	4	堤 美由紀
6	歯冠修復技工実習	陶材焼付鑄造冠製作	窓開け	4	堤 美由紀
7	歯冠修復技工実習	陶材焼付鑄造冠製作	スプルーイング・埋没	6	堤 美由紀
8	歯冠修復技工実習	陶材焼付鑄造冠製作	鑄造・鑄造リング割り出し	6.7	堤 美由紀
9	歯冠修復技工実習	陶材焼付鑄造冠製作	適合確認・メタル調整	5.8	堤 美由紀
10	歯冠修復技工実習	陶材焼付鑄造冠製作	ディギャッシング 2 1・1 4	10	堤 美由紀
11	歯冠修復技工実習	陶材焼付鑄造冠製作	オバーク築盛	9.11-13	堤 美由紀
12	歯冠修復技工実習	陶材焼付鑄造冠製作	デンティン築盛	9.11-13	堤 美由紀
13	歯冠修復技工実習	陶材焼付鑄造冠製作	エナメル築盛	9.11-13	堤 美由紀

14	歯冠修復技工学実習	陶材焼付鑄造冠製作	形態修正	14	堤 美由紀
15	歯冠修復技工学実習	陶材焼付鑄造冠製作	グレージング・ステイニング	13. 14	堤 美由紀
16	歯冠修復技工学実習	陶材焼付鑄造冠製作	研磨・完成	15	堤 美由紀
<b>教科書</b>					
歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会編集：末瀬一彦 外 著：医歯薬出版 歯科技工実習／全国歯科技工士教育協議会編集：末瀬一彦 外 著：医歯薬出版					
<b>参考</b>					
歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会編集：末瀬一彦 外 著：医歯薬出版2018 ヴィンテージシステムテクニカルマニュアルDVD/山本 真					
<b>試験の受験資格</b>					
3分の2以上の出席					
<b>成績評価の方法</b>					
出席状況、実習態度を加味し、ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。					
<b>備考</b>					

科目分野	専門分野	科目名	歯科技工実習①		
学年	2年次	学期	前期		
時間数	40時間 (90分×20回)	単位数	1	単位	
授業形態	実習	使用場所	3階 技工実習室		
担当教員	堤 美由紀	歯科診療所で歯科技工士として臨床経験あり			
<b>授業の目的(GIO)</b>					
天然歯牙の形態を理解し彫刻再現できる技術力を修得する。 臨床における歯科技工と歯冠修復技工を理解するために、複根性の支台築造体の製作法を修得する。					
<b>授業の概要</b>					
上顎模型(片顎無歯顎)にし、反対側同様に歯冠歯根を模刻したものを排列し、歯肉形成を行う。 下顎大白歯のポスト部が平行でない場合の分割ポスト・コア製作を行う。					
<b>到達目標(SBOs)</b>					
1. 模刻による歯型彫刻法ができる。 2. 歯冠から歯根への移行形態の重要性が説明できる。 3. 排列・歯肉形成ができる。 4. 分割コア・ポストの構成と要件を列挙できる。 5. 分割コア・ポストの製作法について説明できる。					
<b>授業計画</b>					
回	大項目	中項目	小項目	到達目標	担当教員
1	歯科技工実習	彫刻用模型製作 展延氏形態模刻	石膏注入	1.2	堤 美由紀
2	歯科技工実習	天然歯形態模刻	上顎左側中切歯	1.2	堤 美由紀
3	歯科技工実習	天然歯形態模刻	上顎左側側切歯	1.2	堤 美由紀
4	歯科技工実習	天然歯形態模刻	上顎左側犬歯	1.2	堤 美由紀
5	歯科技工実習	天然歯形態模刻	上顎左側第一小白歯	1.2	堤 美由紀
6	歯科技工実習	天然歯形態模刻	上顎左側第一小白歯	1.2	堤 美由紀
7	歯科技工実習	天然歯形態模刻	上顎左側第二小白歯	1.2	堤 美由紀
8	歯科技工実習	天然歯形態模刻	上顎左側第一大白歯	1.2	堤 美由紀
9	歯科技工実習	天然歯形態模刻	上顎左側第二大白歯	1.2	堤 美由紀
10	歯科技工実習	前歯部・臼歯部彫刻模型排列	上顎左側排列	3	堤 美由紀
11	歯科技工実習	前歯部・臼歯部歯肉形成	上顎左側歯肉形成	3	堤 美由紀
12	歯科技工実習	完成	完成	1-3	堤 美由紀
13	歯科技工実習	歯冠修復における歯科技工	石膏注入・分割・トリミング	4.5	堤 美由紀
14	歯科技工実習	歯冠修復における歯科技工	ワックスアップ①	4.5	堤 美由紀
15	歯科技工実習	歯冠修復における歯科技工	スプルーイング・埋没・鋳造	4.5	堤 美由紀
16	歯科技工実習	歯冠修復における歯科技工	鋳造・研磨	4.5	堤 美由紀
17	歯科技工実習	歯冠修復における歯科技工	ワックスアップ②	4.5	堤 美由紀
18	歯科技工実習	歯冠修復における歯科技工	スプルーイング・埋没・鋳造	4.5	堤 美由紀
19	歯科技工実習	歯冠修復における歯科技工	研磨・完成	4.5	堤 美由紀
20	歯科技工実習	歯冠修復における歯科技工	予備日		堤 美由紀
<b>教科書</b>					
口腔・顎顔面解剖学/全国歯科技工士教育協議会編集 医歯薬出版2017 歯科技工実習/全国歯科技工士教育協議会編集：末瀬一彦 外 著：医歯薬出版2017					
<b>参考</b>					
【歯の解剖学 歯のデッサンと歯型彫刻】 歯科技工実習トレーニング INVICTUSアナトミーモデル 歯型彫刻学習用顎模型/ニッシン 歯型彫刻学習用拡大模型/ニッシン					

**試験の受験資格**

3分の2以上の出席

**成績評価の方法**

出席状況、実習態度を加味し、ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

**備考**

科目分野	専門分野	科目名	歯科技工実習②		
学年	2年次	学期	前期		
時間数	80 時間 (90分 × 40回)	単位数	2	単位	
授業形態	実習	使用場所			
担当教員	北浦 孝浩				
<b>授業の目的(GIO)</b>					
有床義歯技工に必要な生体の形態・機能についての基礎知識を学び、無歯顎に対する補綴修復である全部床義歯の製作に必要な技工操作の知識や技術および手順を理解する。					
<b>授業の概要</b>					
無歯顎補綴における全部床義歯の製作において、必要な知識や理論を習得するとともに、技工操作の基本について学習する。					
<b>到達目標(SBOs)</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 有床義歯技工学の意義と目的を説明できる。</li> <li>2. 全部床義歯の研究用模型および精密印象と作業用模型の説明ができる。</li> <li>3. 全部床義歯の製作順序について説明できる。</li> <li>4. 全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業が説明できる。</li> <li>5. 全部床義歯の咬合床製作に必要な作業用模型の処理が説明できる。</li> <li>6. 全部床義歯製作での歯科用材料について説明できる。</li> <li>7. 全部床義歯における咬合堤の標準的な高さ、幅、基準線記入が説明できる。</li> <li>8. 全部床義歯技工に使用する咬合器の種類、および咬合器装着を説明できる。</li> <li>9. 全部床義歯における人工歯の種類と特徴および選択方法を説明できる。</li> <li>10. 全部床義歯の咬合関係を説明できる。</li> <li>11. 全部床義歯の人工歯排列法(下顎法)を説明できる。</li> <li>12. 全部床義歯における歯肉形成の意義と目的を説明できる。</li> <li>13. 全部床義歯の唇側、頬側、舌側、口蓋側の形成を説明できる。</li> <li>14. 全部床義歯の歯肉形成後の辺縁処理および表面仕上げを説明できる。</li> <li>15. 蠟義歯の埋没方法、流蠟器の使用法と注意点を説明できる。</li> <li>16. 全部床義歯のレジン填入、重合を説明できる。</li> <li>17. 咬合器再装着の方法としてスプリットキャスト法を説明できる。</li> <li>18. 床用レジン重合後の歪みを調整し、咬合の安定を図るとともに、運動時の両側性平衡咬合を得るための調整の原則とその方法を説明できる。</li> <li>19. 義歯床研磨の目的とその技工術式を説明できる。</li> <li>20. 各種研磨用具を用いて義歯床を滑沢に仕上げる。完成した全部床義歯を提出し、評価を受けることができる。</li> </ol>					
<b>授業計画</b>					
回	大項目	中項目	内容	到達目標	担当教員
1	有床義歯技工学	有床義歯技工学概論	有床義歯技工学の意義と目的	1	北浦 孝浩
2	有床義歯技工学	印象採得に伴う技工作業Ⅰ	作業用模型の製作	2-5	北浦 孝浩
3	有床義歯技工学	印象採得に伴う技工作業Ⅱ	リリース・ブロックアウト	3-5	北浦 孝浩
4	有床義歯技工学	咬合採得に伴う技工作業Ⅰ	床外形線の記入	3-5	北浦 孝浩
5	有床義歯技工学	咬合採得に伴う技工作業Ⅱ	基準線の記入	3-5	北浦 孝浩
6	有床義歯技工学	咬合採得に伴う技工作業Ⅲ	トレー用レジンの圧接	6	北浦 孝浩
7	有床義歯技工学	咬合採得に伴う技工作業Ⅳ	形態修正	6	北浦 孝浩
8	有床義歯技工学	咬合採得に伴う技工作業Ⅴ	作業用模型の修正	2-5	北浦 孝浩
9	有床義歯技工学	咬合採得に伴う技工作業Ⅵ	口蓋後縁部の削除(ポストダム)	5	北浦 孝浩
10	有床義歯技工学	咬合採得に伴う技工作業Ⅶ	基礎床の製作	5.6	北浦 孝浩
11	有床義歯技工学	咬合採得に伴う技工作業Ⅷ	基礎床の製作	5.6	北浦 孝浩
12	有床義歯技工学	咬合採得に伴う技工作業Ⅸ	咬合堤の製作	5.6	北浦 孝浩
13	有床義歯技工学	咬合採得に伴う技工作業Ⅹ	咬合堤の製作	5.6	北浦 孝浩
14	有床義歯技工学	咬合採得に伴う技工作業ⅩⅠ	咬合堤の製作	5.6	北浦 孝浩

15	有床義歯技工学	咬合採得に伴う技工作業ⅩⅡ	咬合堤の製作	5.6	北浦 孝浩
16	有床義歯技工学	咬合採得に伴う技工作業ⅩⅢ	標準線の記入	7.8	北浦 孝浩
17	有床義歯技工学	咬合採得に伴う技工作業ⅩⅣ	咬合器装着	6.8.10	北浦 孝浩
18	有床義歯技工学	人工歯排列Ⅰ	上顎前歯部人工歯排列	6.10.11	北浦 孝浩
19	有床義歯技工学	人工歯排列Ⅱ	下顎前歯部人工歯排列	6.10.11	北浦 孝浩
20	有床義歯技工学	人工歯排列Ⅲ	下顎臼歯部人工歯排列	6.10.11	北浦 孝浩
21	有床義歯技工学	人工歯排列Ⅳ	下顎臼歯部人工歯排列	6.10.11	北浦 孝浩
22	有床義歯技工学	人工歯排列Ⅴ	上顎臼歯部人工歯排列	6.10.11	北浦 孝浩
23	有床義歯技工学	歯肉形成Ⅰ	ワックスの盛り上げ	6.12.13	北浦 孝浩
24	有床義歯技工学	歯肉形成Ⅱ	上顎唇側の形成	12.13	北浦 孝浩
25	有床義歯技工学	歯肉形成Ⅲ	下顎唇側の形成	12.13	北浦 孝浩
26	有床義歯技工学	歯肉形成Ⅳ	上顎口蓋側の形成	12.13	北浦 孝浩
27	有床義歯技工学	歯肉形成Ⅴ	下顎舌側の形成	12.13	北浦 孝浩
28	有床義歯技工学	歯肉形成Ⅵ	床縁の処理	14	北浦 孝浩
29	有床義歯技工学	歯肉形成Ⅶ	歯肉形成後の表面仕上げ	14	北浦 孝浩
30	有床義歯技工学	埋没及び重合Ⅰ	鑲義歯の埋没	15	北浦 孝浩
31	有床義歯技工学	埋没及び重合Ⅱ	鑲義歯の流蠟	15	北浦 孝浩
32	有床義歯技工学	埋没及び重合Ⅲ	レジン填入	6.16	北浦 孝浩
33	有床義歯技工学	埋没及び重合Ⅳ	レジン重合	6.16	北浦 孝浩
34	有床義歯技工学	咬合器再装着と人工歯の削合、研磨Ⅰ	咬合器再装着	17	北浦 孝浩
35	有床義歯技工学	咬合器再装着と人工歯の削合、研磨Ⅱ	選択削合	18	北浦 孝浩
36	有床義歯技工学	咬合器再装着と人工歯の削合、研磨Ⅲ	選択削合	18	北浦 孝浩
37	有床義歯技工学	咬合器再装着と人工歯の削合、研磨Ⅳ	自動削合	18	北浦 孝浩
38	有床義歯技工学	咬合器再装着と人工歯の削合、研磨Ⅴ	形態修正、研磨	19	北浦 孝浩
39	有床義歯技工学	咬合器再装着と人工歯の削合、研磨Ⅵ	形態修正、研磨	19	北浦 孝浩
40	有床義歯技工学	咬合器再装着と人工歯の削合、研磨Ⅶ	提出・完成	20	北浦 孝浩

### 教科書

最新歯科技工士教本有床義歯技工学：全国歯科技工士教育協議会（編集） 医歯薬出版株式会社

### 参考

有床義歯技工：歯科技工学実習トレーニング

関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会（編） 医歯薬出版株式会社

### 試験の受験資格

3分の2以上の出席

### 成績評価の方法

出席状況、実習態度を加味し、ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

### 備考

科目分野	専門分野	科目名	歯科技工実習③		
学年	2年次	学期	後期		
時間数	80 時間 (90分 × 40回)	単位数	1	単位	
授業形態	実習	使用場所	3階 技工実習室		
担当教員	篠原 宏明	歯科技工所で歯科技工士として臨床経験あり			
<b>授業の目的(GIO)</b>					
多数歯歯牙欠損患者の口腔内で部分床義歯がその機能・審美性を回復してその状態を長く維持する補綴装置であることを認識するために、臨床的な部分床義歯の製作過程を実習しながら、維持装置、連結子や人工歯排列等の技術と理論を習得する。					
<b>授業の概要</b>					
歯冠補綴とはまた違った部分的な歯牙欠損補綴装置であることを認識するために、臨床的な部分床義歯の製作過程を実習しながら、維持装置、連結子や人工歯排列等の技術と理論を習得する。					
<b>到達目標(SBOs)</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 口腔内の解剖学的ランドマークを列挙し、その意義を説明できる。</li> <li>2. 個人トレーの説明と製作法が説明できる。</li> <li>3. 作業用模型の目的と製作法について説明できる。</li> <li>4. 部分床義歯基礎床の説明と製作法が説明できる。</li> <li>5. 平均値咬合器への装着法について説明できる。</li> <li>6. 平均値咬合器の構成要素を列挙し、その役割を説明できる。</li> <li>7. サベイヤーの使用目的、構造及び使用法について説明できる。</li> <li>8. 部分床義歯の構成要素を列挙し、その役割を説明できる。</li> <li>9. 部分床義歯の製作手順を説明できる。</li> <li>10. 部分床義歯の概形印象と精密印象を説明できる。</li> <li>11. 支台装置、連結子の種類や機能について説明できる。</li> <li>12. 鋳造鉤、線鉤の製作法について説明できる。</li> <li>13. リリーフ、ブロックアウトの説明と製作法が説明できる。</li> <li>14. 鋳造バー、屈曲バーの製作法について説明できる。</li> <li>15. 鋳造バー、鋳造クラスプの製作法について説明できる。</li> <li>16. 鋳造バー、鋳造クラスプの埋没、試適、研磨について説明できる。</li> <li>17. 屈曲バー、屈曲クラスプの製作法について説明できる。</li> <li>18. 屈曲バー、屈曲クラスプの試適、研磨について説明できる。</li> <li>19. 部分床義歯の排列、削合について説明できる。</li> <li>20. 部分床義歯の歯肉形成について説明できる。</li> <li>21. 各種フラスク埋没法について説明できる。</li> <li>22. 床用レジンの填入法ならびに重合法について説明できる。</li> <li>23. レジン重合後の義歯床の取り出しについて説明できる。</li> <li>24. 義歯床研磨の目的を理解し、その手順を説明できる。</li> </ol>					
<b>授業計画</b>					
回	大項目	中項目	内容	到達目標	担当教員
1	部分床義歯応用実習	部分床義歯の概説	部分床義歯実習の概要	1. 2	篠原 宏明
2	部分床義歯応用実習	咬合床製作①	模型製作、床外形線記入	3	篠原 宏明
3	部分床義歯応用実習	咬合床製作②	基礎床製作（トレーレジン圧接・トリミング）	4	篠原 宏明
4	部分床義歯応用実習	咬合床製作③	咬合堤（蟻堤）形成、咬合床完成	4	篠原 宏明
5	部分床義歯応用実習	咬合器装着	平均値咬合器装着	5. 6	篠原 宏明
6	部分床義歯応用実習	サベイング、設計	サベイング、義歯の着脱方向の決定、義歯の本設計	8. 9. 10	篠原 宏明
7	部分床義歯応用実習	設計	鋳造、線鉤、連結子設計	8. 9. 10	篠原 宏明
8	部分床義歯応用実習	リリーフ、ブロックアウト	リリーフ、ブロックアウト	13	篠原 宏明
9	部分床義歯応用実習	ワックスアップ	維持装置、連結装置、ワックスアップ	15	篠原 宏明
10	部分床義歯応用実習	ワックスアップ	維持装置、連結装置、ワックスアップ	15	篠原 宏明
11	部分床義歯応用実習	ワックスアップ	維持装置、連結装置、ワックスアップ	15	篠原 宏明
12	部分床義歯応用実習	埋没、鋳造	埋没、鋳造	16	篠原 宏明
13	部分床義歯応用実習	試適、研磨	試適、研磨	16	篠原 宏明

14	部分床義歯応用実習	屈曲	線鉤、連結子屈曲	17	篠原 宏明
15	部分床義歯応用実習	屈曲	線鉤、連結子屈曲	17	篠原 宏明
16	部分床義歯応用実習	屈曲	線鉤、連結子屈曲	17	篠原 宏明
17	部分床義歯応用実習	屈曲	線鉤、連結子屈曲	17	篠原 宏明
18	部分床義歯応用実習	試適、研磨	試適、研磨	18	篠原 宏明
19	部分床義歯応用実習	試適、研磨	試適、研磨	18	篠原 宏明
20	部分床義歯応用実習	人工歯排列	人工歯排列	19	篠原 宏明
21	部分床義歯応用実習	人工歯排列	人工歯排列	19	篠原 宏明
22	部分床義歯応用実習	人工歯排列	人工歯排列	19	篠原 宏明
23	部分床義歯応用実習	人工歯排列	人工歯排列	19	篠原 宏明
24	部分床義歯応用実習	歯肉形成	歯肉形成	20	篠原 宏明
25	部分床義歯応用実習	歯肉形成	歯肉形成	20	篠原 宏明
26	部分床義歯応用実習	歯肉形成	歯肉形成	20	篠原 宏明
27	部分床義歯応用実習	歯肉形成	歯肉形成	20	篠原 宏明
28	部分床義歯応用実習	蝟義歯埋没	一次埋没、二次埋没、三次埋没	21	篠原 宏明
29	部分床義歯応用実習	蝟義歯埋没	一次埋没、二次埋没、三次埋没	21	篠原 宏明
30	部分床義歯応用実習	流蝟、分離材塗布	流蝟（蝟抜き、脱蝟）、分離剤塗布	22. 23	篠原 宏明
31	部分床義歯応用実習	レジン填入・重合	床用加熱重合レジン混和填入	22. 23	篠原 宏明
32	部分床義歯応用実習	レジン填入・重合	床用加熱重合レジン混和填入	22. 23	篠原 宏明
33	部分床義歯応用実習	レジン填入・重合	乾熱式重合	22. 23	篠原 宏明
34	部分床義歯応用実習	レジン填入・重合	乾熱式重合	22. 23	篠原 宏明
35	部分床義歯応用実習	模型割り出し	模型割り出し	22. 23	篠原 宏明
36	部分床義歯応用実習	研磨	形態修正、研磨削合、	24	篠原 宏明
37	部分床義歯応用実習	研磨	形態修正、研磨削合、	24	篠原 宏明
38	部分床義歯応用実習	研磨	形態修正、研磨削合、完成	24	篠原 宏明
39	部分床義歯応用実習	研磨	形態修正、研磨削合、完成	24	篠原 宏明
40	部分床義歯応用実習	総括	部分床義歯製作過程を総括	24	篠原 宏明

### 教科書

最新歯科技工士教本/有床歯科技工学（医歯薬出版株式会社、2019年）

### 参考

有床義歯技工：歯科技工学実習トレーニング

関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会（編） 医歯薬出版株式会社

### 試験の受験資格

3分の2以上の出席

### 成績評価の方法

ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

### 備考

科目分野	専門分野	科目名	歯科技工実習④		
学 年	2年次	学 期	後 期		
時 間 数	80 時間 (90 分 × 40 回)	単 位 数	2	単 位	
授 業 形 態	実 習	使 用 場 所	3 階 技工実習室		
担 当 教 員	堤 美由紀	歯科診療所で歯科技工士として臨床経験あり			
<b>授業の目的(GIO)</b>					
ブリッジの種類や特徴について理解するために、技術と知識を修得する。					
<b>授業の概要</b>					
固定性ブリッジ、半固定性（可動性）ブリッジの製作					
<b>到達目標(SBOs)</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ブリッジの構成要素について説明できる。</li> <li>2. ブリッジの種類について説明できる。</li> <li>3. ブリッジの特徴について説明できる。</li> <li>4. ブリッジの製作順序について説明できる。</li> </ol>					
<b>授業計画</b>					
回	大項目	中項目	内容	到達目標	担当教員
1	歯科技工実習	固定性ブリッジ(前歯部) 臨床的副模型使用	作業用模型製作	1-4	堤 美由紀
2	歯科技工実習		〃	1-4	堤 美由紀
3	歯科技工実習		咬合器装着	1-4	堤 美由紀
4	歯科技工実習		ワックスパターン製作	1-4	堤 美由紀
5	歯科技工実習		〃	1-4	堤 美由紀
6	歯科技工実習		ポンティックワックスアップ	1-4	堤 美由紀
7	歯科技工実習		ポンティック粘膜面形態付与	1-4	堤 美由紀
8	歯科技工実習		コア採得・窓開け	1-4	堤 美由紀
9	歯科技工実習		ワックスパターン連結・ リテンションピース付与	1-4	堤 美由紀
10	歯科技工実習		スブルーイング・埋没・鑄造 鑄造リング割り出し	1-4	堤 美由紀
11	歯科技工実習		〃	1-4	堤 美由紀
12	歯科技工実習		適合確認 隣接・舌側・咬合面部調整	1-4	堤 美由紀
13	歯科技工実習		マージン調整・ サンドブラスト処理	1-4	堤 美由紀
14	歯科技工実習		プライマー処理・オペーク築盛・デン ティン築盛	1-4	堤 美由紀
15	歯科技工実習		〃	1-4	堤 美由紀
16	歯科技工実習		エナメル築盛・形態修正	1-4	堤 美由紀
17	歯科技工実習		研磨・完成	1-4	堤 美由紀
18	歯科技工実習		予備日	1-4	堤 美由紀
19	歯科技工実習		〃	1-4	堤 美由紀
20	歯科技工実習		〃	1-4	堤 美由紀
21	歯科技工実習	半固定性（可動性）ブリッジ	作業用模型製作	1-4	堤 美由紀
22	歯科技工実習		〃	1-4	堤 美由紀
23	歯科技工実習		咬合器装着	1-4	堤 美由紀
24	歯科技工実習		ワックスパターン製作	1-4	堤 美由紀
25	歯科技工実習		〃	1-4	堤 美由紀
26	歯科技工実習		サバイング 挿入方向の決定	1-4	堤 美由紀
27	歯科技工実習		ワックスパターン分割	1-4	堤 美由紀
28	歯科技工実習		キーウェイ部 ボックス形成	1-4	堤 美由紀

29	歯科技工実習		〃	1-4	堤 美由紀
30	歯科技工実習		キーウェイ部取り付け 歯冠形態回復	1-4	堤 美由紀
31	歯科技工実習		スプルーイング・埋没・鋳造	1-4	堤 美由紀
32	歯科技工実習		鋳造リング割り出し・試適	1-4	堤 美由紀
33	歯科技工実習		キー部挿入 ポンティック連結	1-4	堤 美由紀
34	歯科技工実習		スプルーイング・埋没・鋳造	1-4	堤 美由紀
35	歯科技工実習		鋳造リング割り出し・試適	1-4	堤 美由紀
36	歯科技工実習		嵌合部調整	1-4	堤 美由紀
37	歯科技工実習		研磨・完成	1-4	堤 美由紀
38	歯科技工実習		予備日	1-4	堤 美由紀
39	歯科技工実習		〃	1-4	堤 美由紀
40	歯科技工実習		〃	1-4	堤 美由紀
<b>教科書</b>					
最新歯科技工士教本/歯冠修復技工学/全国歯科技工士教育協議会編集:末瀬一彦 外著:医歯薬出版 最新歯科技工士教本/歯科技工実習/全国歯科技工士教育協議会編集:末瀬一彦 外著:医歯薬出版					
<b>参考</b>					
<b>試験の受験資格</b>					
3分の2以上の出席					
<b>成績評価の方法</b>					
出席状況、実習態度を加味し、ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。					
<b>備考</b>					

科目分野	専門分野	科目名	歯科技工実習⑤		
学年	2年次	学期	後期		
時間数	80 時間 (90分 × 40回)	単位数	2	単位	
授業形態	実習	使用場所	3階 技工実習室		
担当教員	大栗 功司	歯科技工所で歯科技工士として臨床経験あり			
<b>授業の目的(GIO)</b>					
有床義歯技工に必要な生体の形態・機能についての基礎知識を学び、無歯顎に対する補綴修復である全部床義歯の製作に必要な技工操作の知識や技術および手順を理解する。					
<b>授業の概要</b>					
無歯顎補綴における全部床義歯の製作において、必要な知識や理論を習得するとともに、技工操作の基本について学習する。					
<b>到達目標(SBOs)</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>全部床義歯技工学の意義と目的を説明できる。</li> <li>全部床義歯の構成要素を説明できる。</li> <li>全部床義歯での研究用模型と作業用模型の説明ができる。</li> <li>全部床義歯の製作順序について説明できる。</li> <li>全部床義歯の咬合床製作に必要な作業用模型の処理が説明できる。</li> <li>全部床義歯製作での歯科用材料について説明できる。</li> <li>全部床義歯における咬合堤の標準的な高さ、幅、が説明できる。</li> <li>全部床義歯における咬合堤の基準線の記入が説明できる。</li> <li>全部床義歯に用いられる咬合器の説明ができる。</li> <li>全部床義歯における作業用模型の咬合器装着を説明できる。</li> <li>全部床義歯の人工歯の種類と特徴を説明できる。</li> <li>全部床義歯における人工歯の選択方法を説明できる。</li> <li>全部床義歯排列においてリングライズドオクルージョンの咬合が説明できる。</li> <li>全部床義歯における前歯部の人工歯排列方法を説明できる。</li> <li>全部床義歯における臼歯部の人工歯排列方法を説明できる。</li> <li>全部床義歯の人工歯排列ができる。</li> <li>全部床義歯における歯肉形成の意義と目的を説明できる。</li> <li>全部床義歯の唇側、頬側、舌側、口蓋部の形成を説明できる。</li> <li>全部床義歯の辺縁の処理を説明できる。</li> <li>全部床義歯の歯肉形成後の表面仕上げを説明できる。</li> </ol>					
<b>授業計画</b>					
回	大項目	中項目	内容	到達目標	担当教員
1	有床義歯技工学	有床義歯技工学概説	有床義歯技工学の意義と目的	1	大栗 功司
2	有床義歯技工学	有床義歯技工学概説	リングライズドオクルージョンの説明	2	大栗 功司
3	有床義歯技工学	全部床義歯の印象採得に伴う技工作業Ⅰ	作業用模型の製作	2.3	大栗 功司
4	有床義歯技工学	全部床義歯の印象採得に伴う技工作業Ⅱ	リリーフ・ブロックアウト	3.4.5	大栗 功司
5	有床義歯技工学	全部床義歯の印象採得に伴う技工作業Ⅲ	床外形線の記入 基準線の記入	4.5	大栗 功司
6	有床義歯技工学	全部床義歯の印象採得に伴う技工作業Ⅳ	トレー用レジンの圧接 形態修正	5.6	大栗 功司
7	有床義歯技工学	全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業Ⅰ	作業用模型の修正 口蓋後縁部の削除(ポストダム)	5	大栗 功司
8	有床義歯技工学	全部床義歯の咬合採得に基礎床の製作	基礎床の製作	4.5.6	大栗 功司
9	有床義歯技工学	全部床義歯の咬合堤の製作	咬合堤の製作	7	大栗 功司
10	有床義歯技工学	全部床義歯の咬合堤の製作	咬合堤の製作	7	大栗 功司
11	有床義歯技工学	全部床義歯の咬合堤の製作	咬合堤の製作 標準線記入	7.8	大栗 功司
12	有床義歯技工学	全部床義歯の咬合器装着	咬合器装着(咬合平面版使用)	9	大栗 功司
13	有床義歯技工学	全部床義歯の人工歯排列①	前歯部人工歯排列(j上顎)	10	大栗 功司
14	有床義歯技工学	全部床義歯の人工歯排列①	前歯部人工歯排列(j上顎)	10	大栗 功司
15	有床義歯技工学	全部床義歯の人工歯排列②	前歯部人工歯排列(下顎)	10	大栗 功司
16	有床義歯技工学	全部床義歯の人工歯排列②	前歯部人工歯排列(下顎)	10	大栗 功司
17	有床義歯技工学	全部床義歯の人工歯排列①	臼歯部人工歯排列(下顎)	10	大栗 功司

18	有床義歯技工学	全部床義歯の人工歯排列①	臼歯部人工歯排列(下顎)	10	大栗 功司
19	有床義歯技工学	全部床義歯の人工歯排列②	臼歯部人工歯排列(上顎)	10	大栗 功司
20	有床義歯技工学	全部床義歯の人工歯排列②	臼歯部人工歯排列(上顎)	10	大栗 功司
21	有床義歯技工学	全部床義歯の歯肉形成Ⅰ	歯肉形成(上顎/唇・頬側)	11	大栗 功司
22	有床義歯技工学	全部床義歯の歯肉形成Ⅰ	歯肉形成(上顎/唇・口蓋側)	11	大栗 功司
23	有床義歯技工学	全部床義歯の歯肉形成Ⅱ	歯肉形成(下顎/唇・頬側)	11	大栗 功司
24	有床義歯技工学	全部床義歯の歯肉形成Ⅱ	歯肉形成(下顎/舌側)	11	大栗 功司
25	有床義歯技工学	全部床義歯の復習	スプリットキャスト法の復習	12	大栗 功司
26	有床義歯技工学	全部床義歯の蝋義歯埋没①	一次埋没	13	大栗 功司
27	有床義歯技工学	全部床義歯の蝋義歯埋没②	溢出路付与、二次埋没、三次埋没	13.14	大栗 功司
28	有床義歯技工学	全部床義歯の流鏝、分離材塗布	流鏝(鏝抜き、脱蠟)、レジン(アルジネート)分離材塗布	15	大栗 功司
29	有床義歯技工学	全部床義歯の流鏝、分離材塗布	流鏝(鏝抜き、脱蠟)、レジン(アルジネート)分離材塗布	15	大栗 功司
30	有床義歯技工学	全部床義歯のレジン混和・填入	レジン混和(粉液法)・填入	15.16	大栗 功司
31	有床義歯技工学	全部床義歯のレジン重合	湿熱式重合	16	大栗 功司
32	有床義歯技工学	全部床義歯の義歯割り出し、再装着	スプリットキャスト法による咬合器再装着	17	大栗 功司
33	有床義歯技工学	全部床義歯の義歯割り出し、再装着	スプリットキャスト法による咬合器再装着	17	大栗 功司
34	有床義歯技工学	全部床義歯の咬合調整。削合	選択削合	18	大栗 功司
35	有床義歯技工学	全部床義歯の咬合調整。削合	選択削合	18	大栗 功司
36	有床義歯技工学	全部床義歯の咬合調整。削合	自動削合	18	大栗 功司
37	有床義歯技工学	全部床義歯の研磨	形態修正、粗研磨	19	大栗 功司
38	有床義歯技工学	全部床義歯の研磨	形態修正、粗研磨	19	大栗 功司
39	有床義歯技工学	全部床義歯の研磨	中研磨	19	大栗 功司
40	有床義歯技工学	全部床義歯の研磨・艶出し完成	レーズ研磨・艶出し完成	20	大栗 功司

### 教科書

最新歯科技工士教本有床義歯技工学:全国歯科技工士教育協議会(編集) 医歯薬出版株式会社

### 参考

有床義歯技工:歯科技工学実習トレーニング  
 関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会(編) 医歯薬出版株式会社

### 試験の受験資格

3分の2以上の出席

### 成績評価の方法

出席状況、実習態度を加味し、ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

### 備考

科目分野	専門基礎分野		科目名	先端技術実習	
学年	2年次		学期	前期	
時間数	40時間 (90分×20回)		単位数	1 単位	
授業形態	実習		使用場所	3階 技工実習室 理工検査室	
担当教員	堤 美由紀	歯科診療所で歯科技工士として臨床経験あり			
<b>授業の目的(GIO)</b>					
CAD/CAMクラウンを製作するために必要な基礎知識、基本操作、設計操作を修得する。					
<b>授業の概要</b>					
CAD/CAMシステムによりスキャニング、デザイン、加工データの生成、ブロックを用いてミリングを行い、大白歯単冠(ジルコニアクラウン)を加工し、ステイニングを行う。					
<b>到達目標(SBOs)</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 作業用模型の製作ができる。</li> <li>2. スキャニングができる。</li> <li>3. モデリングができる。</li> <li>4. CAM出力データの生成ができる。</li> <li>5. 加工機へジルコニアディスクを正確にセットできる。</li> <li>6. ジルコニアブロックからコネクタを切り取ることができる。</li> <li>7. 最終焼結(シントリング)ができる。</li> <li>8. CAD/CAMクラウンの調整ができる。</li> <li>9. 形態修正ができる。</li> <li>10. 色調表現が再現できる。</li> <li>11. CAD/CAMクラウンの最終研磨ができる。</li> </ol>					
<b>授業計画</b>					
回	大項目	中項目	内容	到達目標	担当教員
1	CAD/CAMシステム	オールセラミッククラウン製作	作業用模型の製作	1	堤 美由紀
2	CAD/CAMシステム	オールセラミッククラウン製作	歯型の計測 (スキャニング)	2	堤 美由紀
3	CAD/CAMシステム	オールセラミッククラウン製作	歯型の計測 (スキャニング)	2	堤 美由紀
4	CAD/CAMシステム	オールセラミッククラウン製作	CADによる歯冠形態の設計 (デザイン)	3	堤 美由紀
5	CAD/CAMシステム	オールセラミッククラウン製作	CADによる歯冠形態の設計 (デザイン)	3	堤 美由紀
6	CAD/CAMシステム	オールセラミッククラウン製作	CAMによる加工データの生成	4	堤 美由紀
7	CAD/CAMシステム	オールセラミッククラウン製作	加工機によるブロックの切削 (ミリング)	5	堤 美由紀
8	CAD/CAMシステム	オールセラミッククラウン製作	ジルコニアディスクからの切り出し	6	堤 美由紀
9	CAD/CAMシステム	オールセラミッククラウン製作	最終焼結 (シントリング)	7	堤 美由紀
10	CAD/CAMシステム	オールセラミッククラウン製作	最終焼結 (シントリング)	7	堤 美由紀
11	CAD/CAMシステム	オールセラミッククラウン製作	クラウン内面調整	9	堤 美由紀
12	CAD/CAMシステム	オールセラミッククラウン製作	咬合面修正	9	堤 美由紀
13	CAD/CAMシステム	オールセラミッククラウン製作	形態修正	9	堤 美由紀
14	CAD/CAMシステム	オールセラミッククラウン製作	着色 (ステイニング)	10	堤 美由紀
15	CAD/CAMシステム	オールセラミッククラウン製作	着色 (ステイニング)	10	堤 美由紀
16	CAD/CAMシステム	オールセラミッククラウン製作	焼成後色合わせ	10	堤 美由紀
17	CAD/CAMシステム	オールセラミッククラウン製作	研磨・完成	11	堤 美由紀
18	CAD/CAMシステム	オールセラミッククラウン製作	予備日		堤 美由紀
19	CAD/CAMシステム	オールセラミッククラウン製作	〃		堤 美由紀
20	CAD/CAMシステム	オールセラミッククラウン製作	〃		堤 美由紀
<b>教科書</b>					
最新歯科技工士教本 歯科技工実習/全国歯科技工士教育協議会					
最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学/全国歯科技工士教育協議会					

**参考**

基礎から学ぶCAD/CAMテクノロジー

**試験の受験資格**

3分の2以上の出席

**成績評価の方法**

ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

**備考**

<b>科目分野</b>	専門基礎分野		<b>科目名</b>	先進歯科技工学概論①～⑥	
<b>学年</b>	2年次		<b>学期</b>	前期	
<b>時間数</b>	16時間 (90分×8回)		<b>単位数</b>	1 単位	
<b>授業形態</b>	講義		<b>使用場所</b>	3階 教室2	
<b>担当教員</b>	① 伊賀 引起 ② 橋本 直樹 ③ 大山 正弘、西口 翔太 ④ 山田 幸夫 ⑤ 富永 賢 ⑥ 新居 康二	大学病院で歯科医師として実務経験あり 歯科技工所で歯科技工士として臨床経験あり 大学病院にて歯科技工士として実務経験あり 大学病院にて歯科技工士として実務経験あり 大学病院にて歯科技工士として実務経験あり 歯科診療所にて歯科医師として実務経験あり			
<b>授業の目的(GIO)</b> 医療分野における歯科医療の重要性、歯科医療における歯科技工の役割を理解し、専門基礎科目と専門科目における学習を的確に行うために必要な基礎的事項を修得する。					
<b>授業の概要</b> 歯科技工における感染対策について考える。					
<b>到達目標(SBOs)</b> 1. スタンダードプレコーションについて説明できる。 2. 印象体、模型、技工物の扱い方について説明できる。 3. 生体と咬合器の運動方向について理解する。 4. 歯周治療後の歯冠修復物の特徴・製法等について説明できる。 5. 大学病院における歯科技工を理解できる。 6. 一般開業医から求める歯科技工士を理解できる。 7. 臨床歯科技工について説明できる。					
<b>授業計画</b>					
<b>回</b>	<b>大項目</b>	<b>中項目</b>	<b>小項目</b>	<b>到達目標</b>	<b>担当教員</b>
1	歯科技工管理学	歯科技工における感染予防	感染予防	1. 2	伊賀 引起
2	歯科技工管理学	臨床歯科技工	歯冠修復における歯科技工	7	橋本 直樹
3	歯科技工管理学	臨床歯科技工	有床義歯と歯科技工	7	橋本 直樹
4	歯科技工管理学	顎口腔機能治療における歯科技工	生体と咬合器、下顎運動等	3	大山 正弘
5	歯科技工管理学	顎口腔機能治療における歯科技工	スプリント治療等	3	西口 用太
6	歯科技工管理学	歯周治療と歯科技工	歯周治療後の歯科技工	4	山田 幸夫
7	歯科技工管理学	大学病院での技工	徳島大学病院における歯科技工	5	富永 賢
8	歯科技工管理学	一般開業医からみた歯科技工	歯科医院と歯科技工所の連携等	6	新居 康二
<b>教科書</b> 最新歯科技工士教本 歯科技工管理学/全国歯科技工士教育協議会 最新歯科技工士教本 歯科技工実習/全国歯科技工士教育協議会					
<b>参考</b> 歯科技工士のための感染知識と対策例/日本歯科技工士会					
<b>試験の受験資格</b> 3分の2以上の出席					
<b>成績評価の方法</b> 出席状況、実習態度を総括的評価に加味する。					
<b>備考</b>					